



CL5 Display

E

OWNER'S MANUAL

F

MANUEL DE L'UTILISATEUR

ES

MANUAL DEL PROPIETARIO

D

BETRIEBSANLEITUNG

I

MANUALE DEL PROPRIETARIO

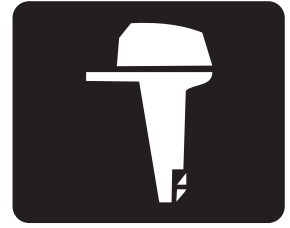
J

取扱説明書

LIT-18626-13-31
6YM-28199-11

Original instructions
Notice originale
Manual original
Originalbetriebsanleitung
Istruzioni originali





CL5 ディスプレイ

取扱説明書

▲ 本製品をご使用になる前に取扱説明書をよくお読みになりお使いください。

LIT-18626-13-31
6YM-28199-11-J0

本製品をご使用になる前に取扱説明書をよくお読みになりお使いください。航海する時は、本書を防水バッグなどに入れて、お客様のボートの適切な場所に保管してください。本製品を売却される場合は、本書を添付してください。


お客様へ

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、製品の正しい取扱い方法を説明しています。

万一、取扱いを誤ると重大な事故や故障の原因となります。取扱いを十分ご存知の方も、製品独自の装備や取扱い方法がありますので、ご使用になる前には必ず本書と船外機本体の取扱説明書をお読みいただき、またご使用時には携帯し安全快適なマリライフをお楽しみください。

本書では、正しい取扱いに関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

 安全警告記号です。人身傷害の危険性がある場合にこの記号で注意を喚起しています。この記号に続くすべての安全事項を守り、傷害や死亡事故を防止してください。

警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷・傷害に至る可能性がある場合を示しています。

注意

取扱いを誤った場合、船外機または他の物的損害に至る可能性がある場合を示しています。

要 点：

正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

- 仕様の変更などにより、図や内容が一部製品と異なる場合がありますのでご了承ください。
- 本書は大切に保管して、本製品を転売や譲渡される場合は必ず添付してください。

表示項目リスト

表示項目リスト

Level 1	Level 2	Level 3	
トリップ	全再設定		
ステアリング フリクション			
ロックトゥー ロック			
トリム アシスト *1			
速度コント ロール *1			
エンジン情報	トリップ	全再設定	
	保守確認	間隔設定 リセット 全再設定	
	タンク類		
	トリム		
	ソフトウェア情報		
	システム情報 *2	コンポーネント ソフトウェア シリアル番号	
	アクティブアラーム	左舷	
		中央左舷	
		中央右舷	
		右舷	
	トラブルコード	左舷	
		中央左舷	
		中央右舷	
		右舷	
	警告マネージャー	並べ替え / フィルタ	
		カードに保存する	
		警告マネージャーを 消去する	
	船舶の設定	自動操舵設定 *1	パターン設定
			方向
			間隔
初期半径			
振幅			
長さ			
最終トラックポイント モード			
航路保持オフセット			
減速設定			
ジョイスティックと セットポイント *1			ジョイスティック推力
			トリムのプリセット
			トリム角度
			微調整間隔
			フィッシュポイント 設定
		ラテラルアシスト	
PTT スイッチ *1		パターン 1	
		パターン 2	
トリムアシスト設定 *1		RPM 設定 (動的)	
		RPM 設定 (静的)	
		RPM 設定のリセット	
		GPS 設定 (動的)	
		GPS 設定 (静的)	
		GPS 設定のリセット	
タンク設定			

Level 1	Level 2	Level 3	
船舶の設定	校正	トリムゼロ設定	
		燃料流量オフセット	
		コンパス設定	
		ジョイスティックの 校正 *1	
	自動操舵感度 *1		
	アラーム	浅瀬 深場 キールオフセット	
デバイス設定	言語		
	キャプチャ		
	背景	ブラッシュドメタル カーボン 白	
	単位	システムユニット 時間	
	ゲージレイアウトの編 集	エンジン画面の編集 船舶画面の編集 速度表示	
	輝度	バックライト	
		バックライト同期 デザイン	
	発信音	オフ 警報のみ キーおよびアラーム	
	リセット	エンジンの数	1
			2
3			
4			
システムのリセット			
ステアリングシステム のリセット *2			
ステーション変更		メイン操舵装置 (メインステーション)	
		フライブリッジ (第 2 ステーション) その他	
初期設定にリセット	いいえ はい		

*1 Helm Master EX (アップグレード可能) を使用し
ているときのみ表示されます。

*2 メカリモコン使用時には表示されません。

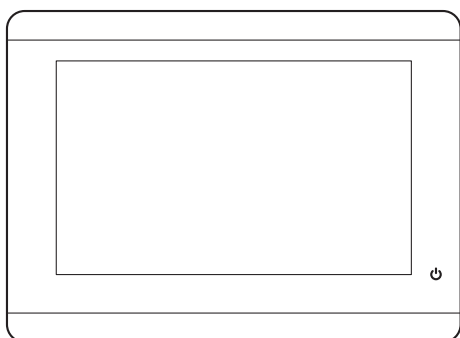
要 点:

接続システムによっては表示されないメニューがあ
ります。

デバイスの概要

警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。



タッチスクリーンを無効にするには：

- (1) “⏻” を押します。
- (2) 「タッチスクリーンをロック」を選択します。
ロックを解除するには、再度 “⏻” を押します。

電源の入れ方

エンジン始動用のメインスイッチを ON 位置にするとデバイスの電源が入ります。

要点：

メインスイッチが OFF 位置でも、デバイスの電源ボタン “⏻” を押すと電源が入ります。

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップすると、表示されている項目が選択されます。
- 画面を上下にスワイプすると、表示がスクロールされます。
- 画面を左右にスワイプすると、表示画面が切り替わります。

タッチスクリーンを無効化する



タッチスクリーンを無効にすることで、不注意による画面操作を防ぐことができます。

初期設定

初期設定

初めて起動するときは、地域と船外機の数を設定する必要があります。

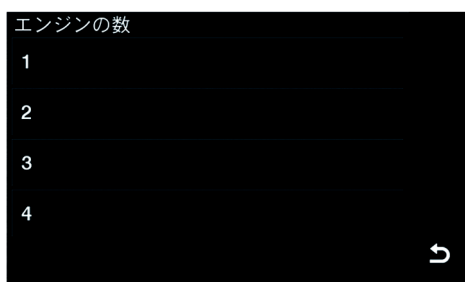
画面に表示されている項目を選択し、設定を行います。

設定するには：

- (1) 国または地域を選択します。



- (2) ボートに搭載されている船外機の数を設定します。



要 点：

船外機の搭載数はリセットすることができます。（詳細は 29 ページを参照してください。）

- (3) 使用する船外機のステアリングシステムを選択します。

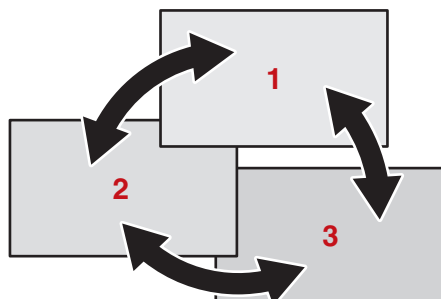


要 点：

ヤマハ電動ステアリングが装備された船外機をボートに搭載している場合は「Yamaha ステアリング」を選択し、それ以外のヤマハ船外機の場合は「その他」を選択します。

表示画面の流れ

このデバイスは、ボートの装備に応じて様々な情報を表示します。エンジンデータ画面、ポート情報画面、メニュー画面を切り替えるには、スワイプ操作を行います。

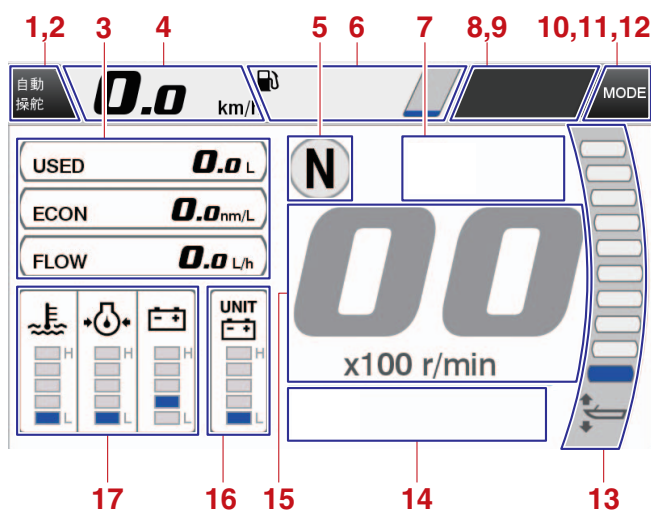


- 1 エンジンデータ画面
- 2 ポート情報画面
- 3 メニュー画面











エンジンデータ画面

エンジンデータ画面

1 機掛け仕様



1	自動操舵ボタン	<p>ボタンをタップすると、自動操舵機能の情報を表示することができます。自動操舵機能の使用方法については 17 ページを参照してください。</p> <p>要 点: 自動操舵ボタンはHelm Master Ex の自動操舵パネル使用時のみ表示されます。</p>
2	セットポイントボタン	<p>セットポイントは定点保持機能です。</p> <p>要 点: セットポイントボタンは Helm Master 使用時のみ表示されます。</p>
3	ポートステイタス	<p>航行速度やラダーアングル、燃費情報、航行距離など、ボートの状態が表示されます。</p> <p>要 点: ポートステイタスを長押しすると、表示情報を変更することができます。表示情報の変更方法については 27 ページを参照してください。</p>
4	スピードメーター	ボートの航行速度が表示されます。
5	シフト	船外機のシフト状態が表示されます。
6	タンクレベル	<p>燃料タンクや清水タンクなどの残量が表示されます。</p> <p>要 点:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の残量を表示させるには、フューエルセンサーを接続する必要があります。 ● タンクレベルを長押しすると、タンクの詳細情報を表示できます。
7	エンジンコンディション	<p>エンジンの状態が表示されます。</p> <p>🔒: Yamaha セキュリティシステムが起動しています。</p> <p>🔄: エンジンが同期制御されています。</p> <p>❄️: エンジンが冷えています。</p>

8	ボートコントロールインジケータ	<p>作動中のボートコントロール機能が表示されます。</p> <p> : 自動操舵 : 速度コントロール : シングルレバー : トリムアシスト </p> <p>要 点:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Helm Master EX 使用時のみ表示されます。 ● 速度コントロール機能の使用方法については 10 ページを参照してください。 ● トリムアシスト機能の設定方法については 21 ページを参照してください。
9	GPS インジケータ	<p>GPS 信号強度が表示されます。</p> <p>要 点:</p> <p>Helm Master 使用時のみ表示されます。</p>
10	ボートコントロールモードボタン	<p>ジョイスティックを装備している Helm Master EX ではフィッシュポイントモードの切り替えができます。</p>
11	Set RPM ボタン	<p>Helm Master ではフィッシュポイントの上限回転数設定画面が表示されます。</p>
12	トローリングモードボタン	<p>シフトが前進または後進位置にあり、スロットルが完全に閉じている場合、エンジン速度は約 50 r/min で調整できます。</p> <p>トローリングモードを終了するには、キャンセルボタンを選択するか、エンジンを停止するか、エンジン速度を 3000 r/min 以上に上げます。</p> <p>要 点:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メカリモコン、6X6 リモコン、6X7 リモコンのいずれかを使用している時はトローリングモードボタンが表示されます。 ● メカリモコンの場合、シフトがニュートラルでもトローリングモードが維持されます。
13	トリムアングル	<p>船外機のトリム角度が表示されます。</p> <p>要 点:</p> <p>トリムアングルを長押しすると、トリム角度の詳細情報が表示されます。</p>
14	エンジンアラート	<p>エンジンに異常が発生すると、以下のエンジンアラートアイコンが表示されます。</p> <p> : 油圧低下警報 : オーバーヒート警報 : 水検知警報 : バッテリー電圧低下警報 : エンジン点検警報 : システム警報 </p> <p>注意</p> <p>エンジンアラートアイコンが表示されたときは、警報ごとの適した対処を行ってください。</p> <p>対処については 14 ページを参照してください。</p>
15	タコメーター	<p>エンジンの回転数が表示されます。</p> <p>要 点:</p> <p>タコメーターを長押しすると、画面背景のデザインを変更できます。</p> <p>背景デザインの変更方法については 27 ページを参照してください。</p>

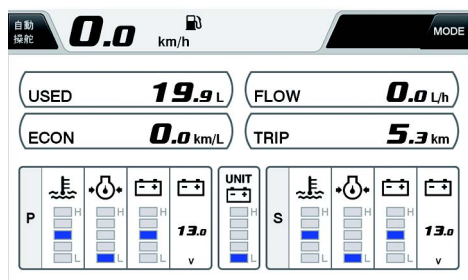
エンジンデータ画面

16	サブステイタス	<p>トリムタブの状態、アクセサリバッテリーの電圧など、接続機器の状態が表示されます。</p> <p>要 点: サブステイタスを長押しすると、表示情報を変更することができます。表示情報の変更については 27 ページを参照してください。</p>
17	エンジンステイタス	<p>油圧、水圧、バッテリー電圧など、エンジンの状態が表示されます。</p> <p>要 点: エンジンステイタスを長押しすると、表示情報を変更することができます。表示情報の変更については 27 ページを参照してください。</p>

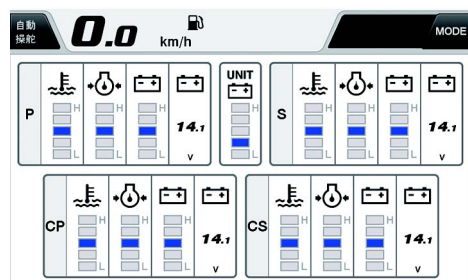
表示ボタン一覧表

	メカリモコン	6X6/6X7 リモコン	Helm Master	Helm Master EX 電子ステアリング 装備	Helm Master EX 自動操舵パネル 装備	Helm Master EX ジョイスティック 装備
自動操舵ボタン	×	×	×	×	○	○
セットポイントボタ ン	×	×	○	×	×	×
ポートステイタス	○	○	○	○	○	○
スピードメーター	○	○	○	○	○	○
シフト	×	○	○	○	○	○
タンクレベル	○	○	○	○	○	○
エンジンコンディ ション	○	○	○	○	○	○
ポートコントロール インジケーター	×	×	×	○	○	○
GPS インジケーター	×	×	○	×	×	×
ポートコントロール モードボタン	×	×	×	×	×	○
Set RPM ボタン	×	×	○	×	×	×
トローリングモード ボタン	○	○	×	×	×	×
トリムアングル	○	○	○	○	○	○
エンジンアラート	○	○	○	○	○	○
タコメーター	○	○	○	○	○	○
サブステイタス	○	○	○	○	○	○
エンジンステイタス	○	○	○	○	○	○

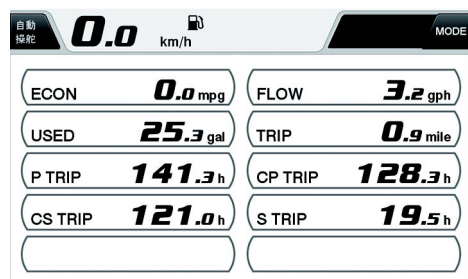
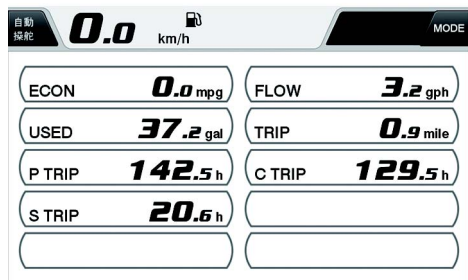
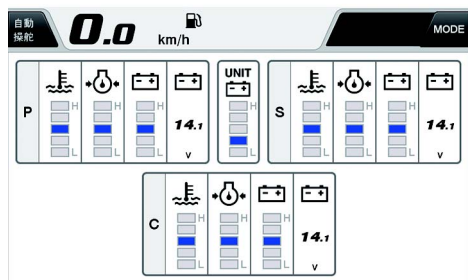
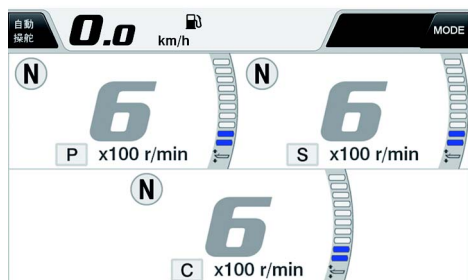
2 機掛け仕様



4 機掛け仕様



3 機掛け仕様



2 機掛け仕様の場合、エンジンデータ画面の右側の画面に、ポートステータス、エンジンステータス、サブステータスが表示されます。

3 機掛け仕様と 4 機掛け仕様の場合、エンジンデータ画面の右側の画面にエンジンステータスとサブステータスが表示され、ポートステータスは更に右側の画面に表示されます。

要 点：

エンジンデータ画面の表示は、搭載されている船外機の数やリモコン、その他の接続機器によって異なります。

エンジンデータ画面

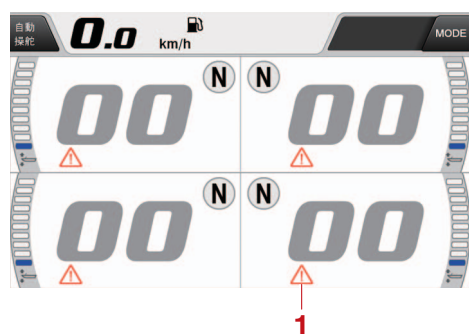
エンジンアラートとポップアップウィンドウ

赤いアイコンは、異常が起きた時に点灯します。異常が発生すると、ポップアップ画面が表示され、ブザーが鳴ってお知らせします。



- 1 ポップアップウィンドウ
- 2 確認ボタン

通常の見返しに戻すには、確認ボタンを押します。通常の見返しに戻るとエンジンアラートアイコンが点滅しなくなります。



- 1 エンジンアラートアイコン

注意

警報機構が作動した場合は、エンジンを停止してください。原因究明とその処置が出来ない場合は、ヤマハ取扱店で点検を受けてください。

メニュー

注意

ステーション設定が正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されていない場合、エンジンデータ画面に正しい情報が表示されません。



メニュー画面を表示するには、エンジンデータ画面で左から右にスワイプするか、ポート情報画面で右から左にスワイプします。

“>>”が表示されている項目を選択すると、後続のメニュー項目を表示します。

画面内に表示されている“≡”を選択すると、詳細設定画面を表示します。

“⏪”を選択すると、前の画面に戻ります。

GPS 衛星信号

衛星データを受信しているときは、画面右上に“📶”が表示されます。

要点:

GPS レシーバーの接続方法についてはヤマハ取扱店にご相談ください。

トリップ

メニュー>トリップ

航行距離、航行時間などのトリップデータが表示されたり、それぞれの値をリセットしたりすることができます。トリップデータのリセット方法は12ページを参照してください。

ステアリングフリクション

メニュー>ステアリングフリクション

ステアリングのフリクションを「通常」か「重い」のどちらかに選択することができます。

要点:

- ステアリングフリクション機能は電動ステアリング装備時のみ設定することができます。
- ステアリングフリクションの詳細な設定はヤマハ取扱店にご相談ください。

ロックトゥーロック

メニュー>ロックトゥーロック

ステアリングを左にいっぱいまで回した状態から右にいっぱいまで回すときの回転数を「可変式」か「一定」のどちらかに選択することができます。

要点:

- ロックトゥーロック機能は電動ステアリング装備時のみ設定することができます。
- ロックトゥーロックの詳細な設定はヤマハ取扱店にご相談ください。

トリムアシスト

メニュー>トリムアシスト

トリムアシスト機能の起動と停止ができます。

トリムアシストの設定は21ページを参照してください。

要点:

- この機能はHelm Master EX使用時に表示されます。
- Helm Master 使用時はリモコンを使用してトリムアシストを切り替えます。

速度コントロール

メニュー>速度コントロール

速度コントロール機能のソースを変更することができます。

速度コントロール機能には「速度コントロール 回転数」と「速度コントロール GPS」があります。ボタンを選択して、ソースを選択します。

速度コントロール 回転数:

エンジン回転数を調整して走行速度を制御します。

速度コントロール GPS:

GPS 情報により割り出した速度によって走行速度を制御します。

要点:

GPS が接続されていて、Helm Master EX を使用しているときのみ表示されます。詳細情報はヤマハ取扱店にご相談ください。

エンジン情報

メニュー>エンジン情報

トリップデータやメンテナンス情報などの総合情報を表示します。(12ページを参照してください。)

船舶の設定

メニュー>船舶の設定

さまざまな船舶機能を設定できます。

(17ページを参照してください。)

メニュー

デバイス設定

メニュー > デバイス設定

デバイスで表示する単位や表示情報のレイアウト等
を設定できます。(27 ページを参照してください。)

リセット

メニュー > リセット

設定の変更やリセットをすることができます。(29
ページを参照してください。)

エンジン情報



メニュー > エンジン情報

トリップデータの表示とリセット

USED	19.9	L	TRIP距離	5.3	km
TRIP時間 (P)	10.6	合計時間 (P)	10.9	TRIP時間 (S)	2.2
		合計時間 (S)	10.7		



メニュー > エンジン情報 > トリップ

総運転時間、航行距離、航行時間、燃料使用量が表示されます。長押しすると、各項目データをリセットすることができます。「全再設定」を選択すると、航行距離、航行時間、燃料使用量のデータが同時にリセットされます。

保守確認の設定

保守確認 間隔	P	CP	CS	S
STD 100	0	0	0	0
OP1 100	0	0	0	0
OP2 300	0	0	0	0
OP3 400	0	0	0	0

メニュー > エンジン情報 > 保守確認

保守確認は、メンテナンスが必要となるタイミングをポップアップウィンドウで知らせる機能です。保守確認を使用するには、メンテナンスの対象に合ったインターバル時間を指定する必要があります。保守確認機能を無効化することはできません。

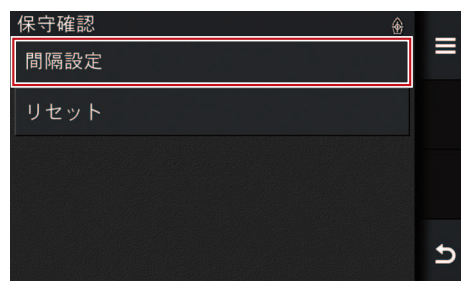
インターバルを設定するには：

(1) メンテナンスタイプを選択します。

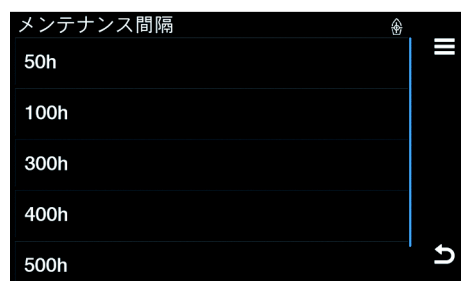
保守確認 間隔	P	CP	CS	S
STD 100	0	0	0	0
OP1 100	0	0	0	0
OP2 300	0	0	0	0
OP3 400	0	0	0	0

1 メンテナンスタイプ

(2) 「間隔設定」を選択します。



(3) メンテナンス間隔を設定します。

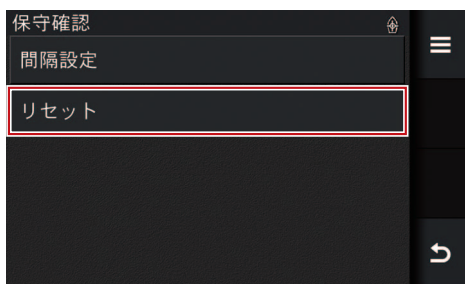


経過時間をリセットするには：

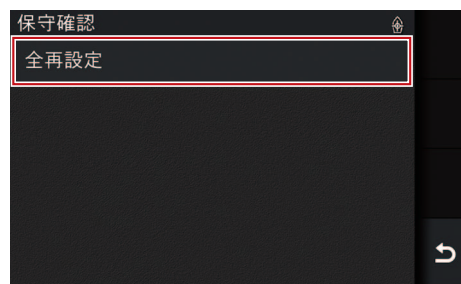
(1) リセットしたいメンテナンスタイプを1つ選択します。

エンジン情報

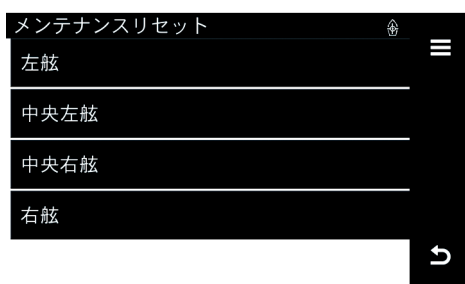
(2) 「リセット」を選択します。



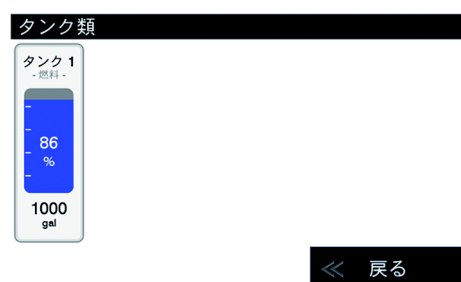
(2) 「全再設定」を選択します。



(3) 経過時間のリセットをする船外機を選択します。



タンク情報の表示



要 点:

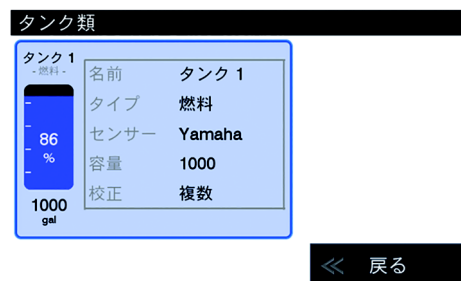
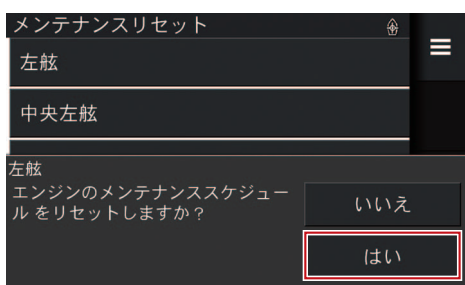
船外機が 1 機の場合、船外機を選択画面は表示されません。

メニュー > エンジン情報 > タンク類

設定したタンクの情報が表示されます。

表示データをタップすると、タンクの詳細情報を表示することができます。

(4) 「はい」を選択します。



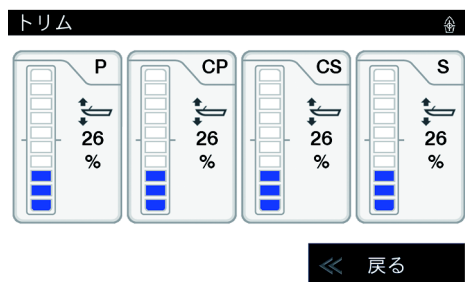
要 点:

タンク情報を表示するには、タンクの設定を行う必要があります。タンクの設定方法は 23 ページを参照してください。

全ての経過時間をリセットするには：

(1) メニューボタン“≡”を選択します。

トリム情報の表示



メニュー > エンジン情報 > トリム
船外機のトリム角度が表示されます。
船外機がチルト領域まで上がると、表示情報が点滅します。

ソフトウェア情報の表示



メニュー > エンジン情報 > ソフトウェア情報
ソフトウェアのバージョン情報を表示します。ソフトウェアは定期的にアップデートする必要があります。ソフトウェアを更新する場合は、ヤマハ取扱店にご相談ください。

システム情報の表示



メニュー > エンジン情報 > システム情報
接続している機器と使用しているソフトウェア、シリアルナンバーが表示されます。

要 点:

- 対応しているヤマハ機器を接続している場合のみ表示されます。
- メカリモコンと接続している場合は表示されません。

アクティブアラーム

メニュー > 情報 > アクティブアラーム

作動中の警報情報が表示されます。
警報情報は、エンジンデータ画面のエンジンアラート部分にもアイコンで表示されます。
警報が作動中の場合、表示項目の横にも“△”が表示されます。

注 意

警告が表示された場合は直ちに帰港し、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。

油圧低下警報 “油圧”

エンジンオイル圧が低下すると、油圧低下警報が点灯します。同時にエンジン回転数が制限され、ブザーが鳴ります。エンジンを停止して、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイル量の点検方法については、船外機の取扱説明書を参照してください。

注 意

- オイルを入れずにエンジンを運転しないでください。エンジンの重大な損傷につながるおそれがあります。
- 原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。

オーバーヒート警報 “温度”

エンジンがオーバーヒートすると、冷却水温アイコンが点滅してオーバーヒート警報が点灯します。同時にエンジン回転数が制限され、ブザーが鳴ります。エンジンを停止して、冷却水取入口の詰まりがないことを確認してください。

注 意

- オーバーヒート警報が表示された状態でのエンジン使用は避けてください。エンジンの重大な損傷につながるおそれがあります。
- 原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。

水分離警報 “水”

航行中、燃料水分離器（燃料フィルター）に水が溜まると、水検知警報が点滅します。エンジンを停止して、燃料水分離器（燃料フィルター）から水を捨ててください。水の捨て方については、船外機の取扱説明書を参照してください。

注 意

- 水が混ざった燃料がエンジンに送られると、エンジン故障の原因になります。

エンジン情報

- 原因の究明とその処置ができない場合は、速やかにヤマハ取扱店にご相談ください。

低電圧警報 “”

バッテリー電圧が低下すると、定電圧警報が点滅します。警報が作動したときは、ただちにエンジンを始動してバッテリーを充電してください。エンジン運転中にもかかわらず常に警報が作動する場合は、ただちに帰港してヤマハ取扱店でバッテリー充電システムの点検を受けてください。

エンジン点検警報 “”

エンジンに異常があると、エンジン点検警報が点滅します。ただちに帰港して、ヤマハ取扱店で点検を受けてください。

要 点：

異常が解消されるまでエンジン点検警報は点灯します。


システム点検 / ステアリング故障警報 “”

システムに異常が発生するとこの警報が作動します。ただちに帰港し、ヤマハ取扱店に相談してください

トラブルコードを表示する

メニュー > エンジン情報 > トラブルコード

作動している警報情報のトラブルコードを表示します。


起動中のトラブルコードがあると、項目の横に “” が点灯します。

各種問題を解決するにはトラブルコードをヤマハ取扱店にご報告ください。

警告マネージャー

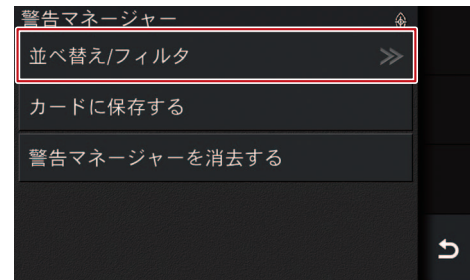


メニュー > エンジン情報 > 警告マネージャー

これまでに起きた警告情報の一覧が表示されます。各警告情報を選択して、詳細情報を表示します。起動中の警告情報があると、項目の横に “” が点灯します。

警告情報を並べ替えるには：

- (1) メニューボタン “” を選択します。
- (2) 「並べ替え / フィルタ」を選択します。




- (3) 並べ替え方法を以下から選択します。

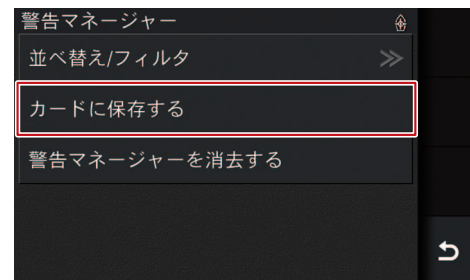
- 日時に並べ替え
- 起動中 / 停止中で並べ替え
- 臨界で並べ替え

要 点：

正しい日時を表示するには、GPS と接続する必要があります。

警告情報を USB メモリースティックに保存するには：


- (1) メニューボタン “” を選択します。
- (2) 「カードに保存する」を選択します。

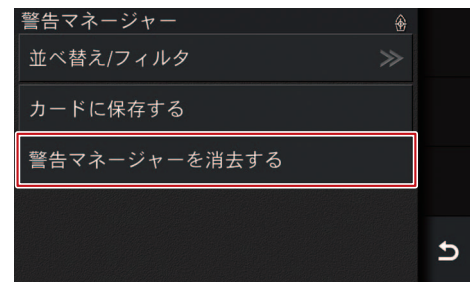


要 点：

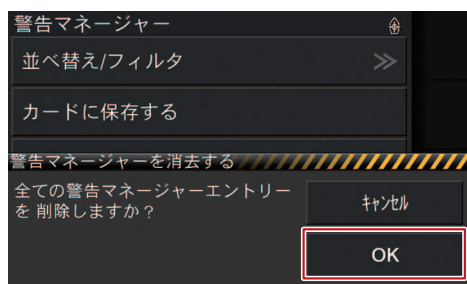
USB メモリースティックを使用しない時は、デバイスにキャップを取り付けてください。

警告情報を削除するには：

- (1) メニューボタン “” を選択します。
- (2) 「警告マネージャーを消去する」を選択します。



(3) ポップアップウィンドウの「OK」を選択します。



船舶の設定

オートパイロット（自動操舵）

オートパイロット機能は、ステアリングとスロットルの操作を支援し、ボートを目的のポイントまたは方向に移動させ続ける機能です。

オートパイロットシステムは、ステアリングを支援するデバイスです。船長は安全に航行する責任があり、航行中はボートを注意深く見る必要があります。

警告

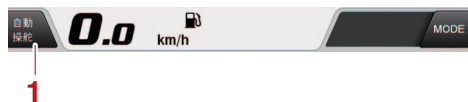
- この機能は障害物を避けるものではありません。また、波を自動的に通り抜けることもありません。
- 操船者は運転席に留まり、周囲の状況を監視する必要があります。

要点：

- オートパイロット機能は自動操舵パネルかジョイスティックを装備した Helm Master EX 使用時のみ使用できます。
- GPSアンテナがGPS信号を受信できない場合、オートパイロット機能は停止されます。
- GPS信号を反射する大きな建物が近くにあると、正しい情報を受信できなくなるおそれがあり、信号の信頼性が低下します。
- オートパイロット機能の詳細情報は、6X9 デジタルエレクトロニックコントロールの取扱説明書を参照してください。

自動操舵画面を表示するには：

- (1) エンジンデータ画面で自動操舵ボタンを選択します。



- 1 自動操舵ボタン

- (2) 表示された自動操舵バーの全画面表示ボタンを選択します。



- 1 全画面表示ボタン

方位保持航走

方位保持を起動すると、ボートの船首が方位保持開始時に向いている方位に固定されます。

方位保持航走中は風や潮流によってボートが流されても、船首の方位は保たれます。

方位保持航走中に船首の向きを希望の方位に調整することもできます。

針路保持航走

針路保持を起動すると、設定された仮想針路上を保持して航走します。

針路保持航走中は風や潮流によってボートが流されても、仮想針路に沿うように航走針路を補正します。針路保持航走中に仮想針路を調整することもできます。

要点：

ボートが回転していたり、強い風や潮流によってボートが動いていたたり、後進している間は、針路保持を起動できません。

定点航走

マルチファンクションディスプレイで設定した経由ポイントを通りながら、最終目的地に航走します。

設定によっては、最終目的地に到着すると減速、停止することができます。また、停止後にあらかじめ設定したモードに変わります。

警告

設定するマルチファンクションディスプレイによっては、ボートが最終目的地を通過しても減速しないおそれがあります。

要点：

- ルートが設定されていない場合、定点航走は起動しません。
- 定点航走は、ルートの設定条件またはボートの速度が原因で、ルートをたどれないおそれがあります。

設定航走

設定航走を起動すると、マルチファンクションディスプレイで事前に設定されたパターンに沿って航走します。設定航走の設定は 18 ページを参照してください。

自動操舵設定



メニュー > 船舶の設定 > 自動操舵設定

オートパイロットに関する設定を変更できます。

要 点:

自動操舵画面にあるメニューボタン“☰”を選択しても自動操舵設定画面を表示できます。

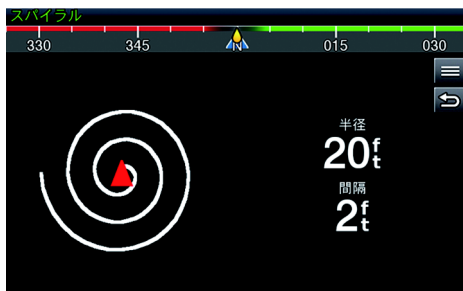
パターン設定

設定航走で使用する操舵パターンを変更できます。「ジグザグ」か「スパイラル」から操舵パターンを選択できます。

ジグザグ

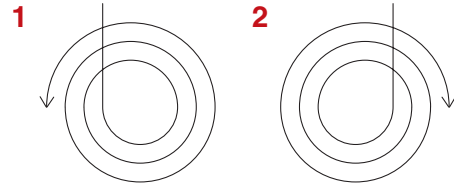


スパイラル



方向

設定航走使用時の旋回方向を左舷方向か右舷方向のどちらかに選択することができます。



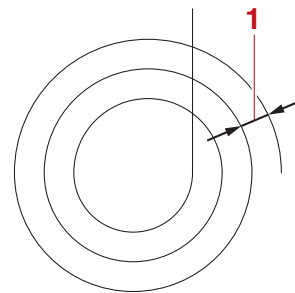
- 1 左舷方向
- 2 右舷方向

要 点:

「方向」はパターン設定でスパイラルを選択したときに表示されます。

間隔

螺旋航路の幅の広さを指定することができます。幅が広いと緩やかな螺旋を描くことができます。



- 1 間隔

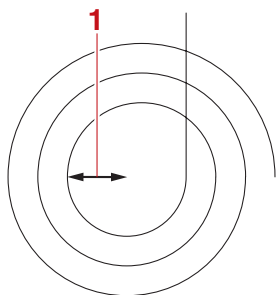
要 点:

「間隔」はパターン設定でスパイラルを選択したときに表示されます。

船舶の設定

初期半径

スパイラルの最初に描く円の半径の長さを指定することができます。



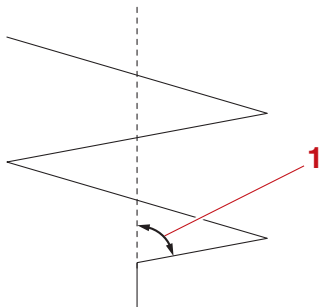
1 初期半径

要 点:

「初期半径」はパターン設定でスパイラルを選択したときに表示されます。

振幅

ジグザグの角度を指定することができます。



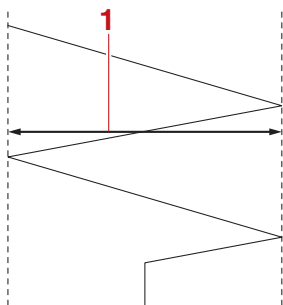
1 振幅

要 点:

「振幅」はパターン設定でジグザグを選択したときに表示されます。

長さ

ジグザグの左端から右端までの長さを指定することができます。



1 長さ

要 点:

「長さ」はパターン設定でジグザグを選択したときに表示されます。

最終トラックポイントモード

メニュー > 船舶の設定 > 自動操舵設定 > 最終トラックポイントモード

最終トラックポイントモードを有効にすると、指定したポイントに到着する前にボートが減速します。

要 点:

- 他のマルチファンクションディスプレイからルートを設定する場合、マルチファンクションディスプレイによっては地点に到着した後に減速し、停船します。
- 停船後、レバーをニュートラル位置にした時に、プリセットしたセットポイントのモードに切り替わります。
- プリセットモードは減速中に変更できません。

減速設定

メニュー > 船舶の設定 > 自動操舵設定 > 減速設定

減速設定によって減速を開始する距離を3段階から選択することができます。最終目的地に接近すると選択した設定によって異なるタイミングで減速を開始します。

注意

「短い」「非常に短い」を選択すると、ボート速度によっては最終トラックポイントを通る可能性があります。

航路保持オフセット

メニュー > 船舶の設定 > 自動操舵設定 > 航路保持オフセット

ジョイスティック操作時のルートからのオフセット量を設定します。

ジョイスティック / セットポイントの設定



メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント

ジョイスティックを使用した操船に関する設定を行うことができます。

要 点:

ジョイスティック / セットポイントの設定はジョイスティック装備の Helm Master EX 使用時のみ表示されます。

ジョイスティック推力の設定

メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > ジョイスティック推力

ジョイスティックを使った操船における推力レベルを設定します。レベル1に設定すると、操船スピードが最も遅くなります。レベル5に設定すると、操船スピードが最も早くなります。

トリムのプリセット

メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > トリムのプリセット

ジョイスティックで操船するときの、トリム角度を設定するか選択することができます。

起動すると、ジョイスティック使用時に指定したトリム角度が適用されます。

要 点:

起動すると、トリム角度の項目が表示され、トリム角度を指定することができます。

トリム角度の設定

ジョイスティックで操船するときの船外機のトリム角度を設定できます。

設定するには:

(1) 「トリムのプリセット」を起動します。



メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > トリムのプリセット

(2) 希望するトリム角度を入力します。



メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > トリム角度

(3) 「完了」を選択します。



微調整間隔

メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > 微調整間隔

ジョイスティックを使用して指定したポイントを調整するときの距離を設定できます。

フィッシュポイントの切り替え

メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > フィッシュポイント設定

フィッシュポイント機能の種類を選択することができます。

船舶の設定

フィッシュポイント船首：

船首を基準にしてボートの位置を保持します。

フィッシュポイント船尾：

船尾を基準にしてボートの位置を保持します。

要 点：

- フィッシュポイント機能の切り替えは、エンジンデータ画面のボートコントロールモードボタンでも行うことができます。
- フィッシュポイント機能の詳細は 6X9 デジタルエレクトロニックコントロールの取扱説明書を参照してください。

横移動保持アシスト

メニュー > 船舶の設定 > ジョイスティックとセットポイント > ラテラルアシスト

ジョイスティック操船中のジョイスティック操作とボートの動きのいずれかを自動で補正する機能です。

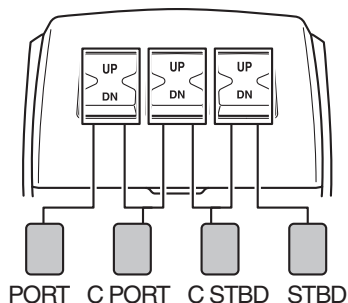
PTT スイッチ

メニュー > 船舶の設定 > PTT スイッチ

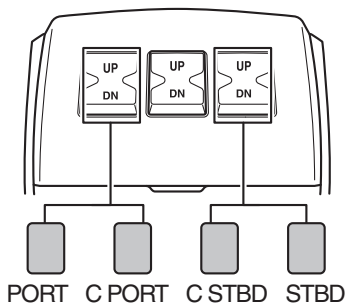
リモコンの PTT スイッチを押したときに対応するエンジンの割当を設定することができます。

割当パターンには次の 2 通りがあります。

パターン 1



パターン 2



要 点：

この表示は、船外機が 4 機以上搭載されており、Helm Master EX が装備されているときに表示されます。

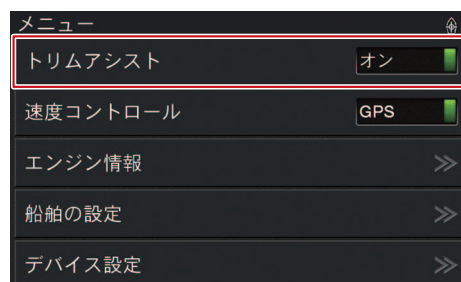
トリムアシスト設定

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定

トリムアシスト機能はボートの走行速度に応じて船外機のトリムをあらかじめ指定した角度に調整する機能です。

トリムアシストを使用するには、ボートの速度に応じたトリム角度をあらかじめ設定する必要があります。トリムアシストは走行速度のソースを指定する必要があります。ソースの指定は 23 ページを参照してください。

トリムアシスト機能を起動するには、メニューにある「トリムアシスト」ボタンをオンにしてください。



メニュー > トリムアシスト

停止状態でのトリムアシストの設定

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > RPM 設定 (静的)

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > GPS 設定 (静的)

停船中、速度に対応した適切なトリム角度を設定することができます。

RPM 設定 (静的) と GPS 設定 (静的) は、エンジン停止時のみ設定できます。

設定するには：

- (1) トリムアシスト機能を停止します。

メニュー > トリムアシスト

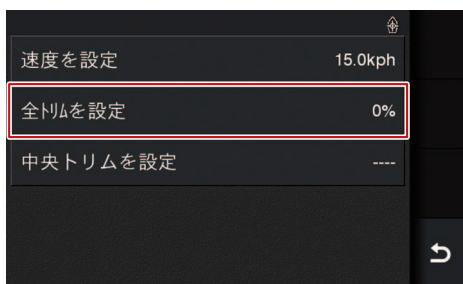
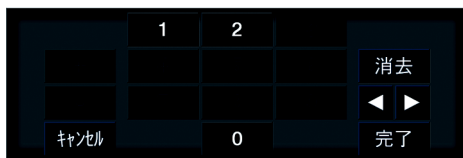
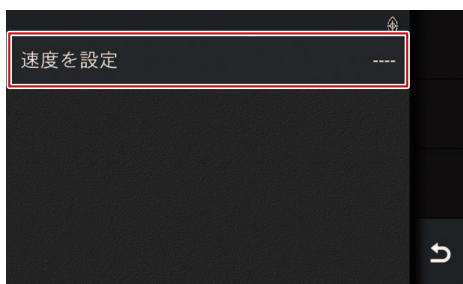
- (2) 「RPM 設定 (静的)」か「GPS 設定 (静的)」を選択し、設定画面を開きます。



(3) ポジション 1 を選択します。



(4) 「GPS 設定 (静的)」の場合、「速度を設定」を選択し、船舶の速度を入力します。



- (5) トリム角度を設定します。
- (6) 次のポジションを選択します。
- (7) 「RPM 設定 (静的)」の場合はエンジン回転数を、「GPS 設定 (静的)」の場合は船舶の速度を入力します。
- (8) トリム角度を設定します。

(9) 手順 (6) から手順 (8) を繰り返し、残りのポジションを設定します。



要 点:

3 機掛け仕様と 4 機掛け仕様の場合、中央機は左舷機および右舷機と異なるトリム角度を設定できます。

運転状態でのトリムアシストの設定

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > RPM 設定 (動的)

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > GPS 設定 (動的)

ボートを運転しながら、速度に対応したトリム角度を設定することができます。

要 点:

「RPM 設定 (動的)」と「GPS 設定 (動的)」は、エンジン始動中のみ設定できます。

設定するには:

- (1) トリムアシスト機能を停止します。
メニュー > トリムアシスト
- (2) 「RPM 設定 (動的)」か「GPS 設定 (動的)」を選択し、設定画面を開きます。



- (3) 「GPS 設定 (動的)」の場合、設定する船舶速度で航走します。
- (4) トリム角度を調整します。

船舶の設定

- (5) ポジション1を選択します。



- (6) 「RPM 設定（動的）」の場合は設定するエンジン回転数で、「GPS 設定（動的）」の場合は設定する船舶速度で航走します。
(7) トリム角度を調整します。
(8) 次のポジションを選択します。



- (9) 手順 (6) から手順 (8) を繰り返し、残りのポジションを設定します。

トリムアシストの設定のリセット

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > RPM 設定のリセット

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > GPS 設定のリセット

設定したトリムアシストの値をリセットすることができます。

使用するソースを選択する

メニュー > 船舶の設定 > トリムアシスト設定 > 速度ソース (RPM / GPS)

トリムアシストに使用するソースには、エンジン回転数 (RPM) と走行速度 (GPS) があります。

要点:

GPS ソースを使用するには、Helm Master EX に対応しているGPSレシーバーを装備する必要があります。

タンク設定

メニュー > 船舶の設定 > タンク設定

使用するタンク情報の設定を行うことができます。

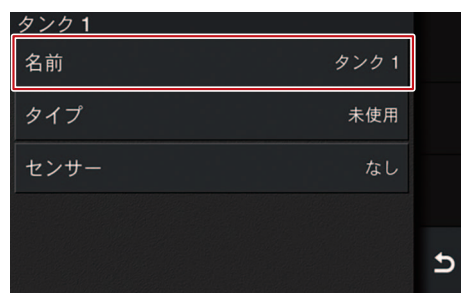
タンクレベルの情報をエンジンデータ画面に表示するには、タンク設定が必要です。

要点:

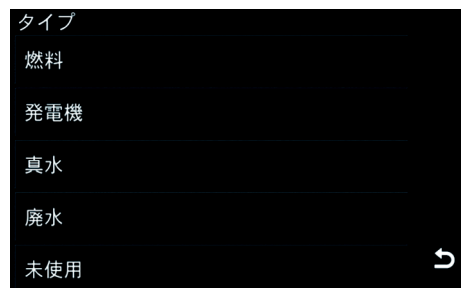
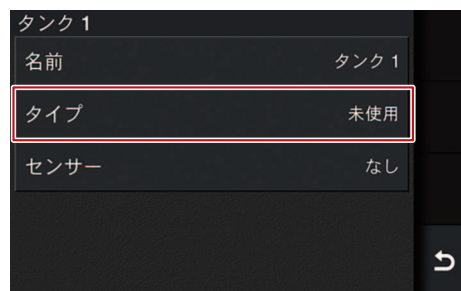
「タンク設定」を表示するには、フューエルセンサーが必要です。

設定するには:

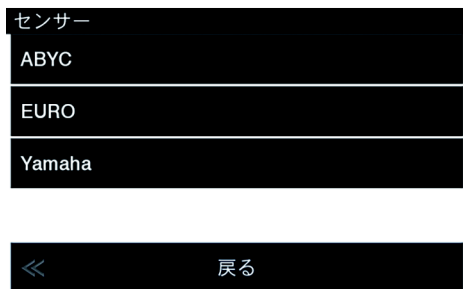
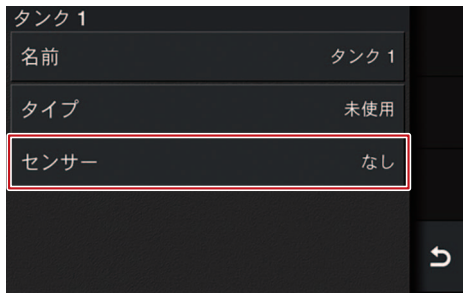
- (1) 設定するタンクを選択します。
(2) 「名前」を選択し、タンク名を入力し、「完了」を選択します。



- (3) 「タイプ」を選択し、タンクの種類を選択します。



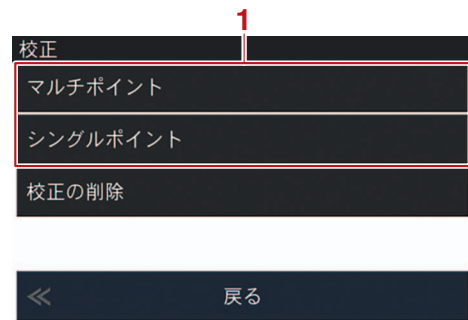
- (4) 「センサー」を選択し、タンクレベルセンサーの種類を選択します。



- (5) 「タンク容量」を選択し、タンク容量を入力し、「完了」を選択します。

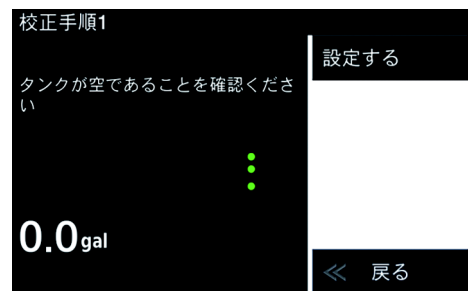


- (6) 「校正」を選択し、校正方法を選択します。



- 1 校正方法

- (7) デバイスに表示された手順に従って校正します。



要 点：

フェューエルセンサーを接続しないと、タンク設定はできません。

校正 燃料流量オフセット



メニュー > 船舶の設定 > 校正 > 燃料流量オフセット
燃料流量表示は、自然環境や仕様状況により誤差が生じます。表示を校正するには、以下の手順で補正します。

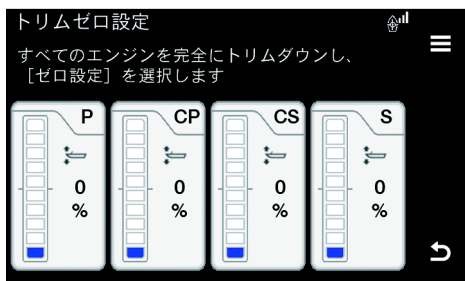
補正するには：

- (1) 燃料タンクを満タンにして走行します。
- (2) 走行後、再度燃料タンクを満タンにし、実際に補給した燃料の量と燃料使用量表示の差を確認します。

船舶の設定

- (3) 燃料流量オフセットの画面を開き、実際に補給した燃料量とメーターの燃料消費量表示の差を入力します。

トリムゼロ設定



メニュー > 船舶の設定 > 校正 > トリムゼロ設定
全ての船外機がトリムダウンしている場合に、トリム角度をゼロに初期化できます。

初期化するには：

- (1) メニューボタン “☰” を選択します。
- (2) 「ゼロにセット」を選択します。
- (3) 「OK」を選択します。

コンパスの設定



メニュー > 船舶の設定 > 校正 > コンパス設定
コンパスは自動操舵機能やセットポイント機能を使用する前に設定する必要があります。

要 点：

コンパスの設定を行わないと、ポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウからも、コンパス設定の画面を表示できます。

コンパス校正

メニュー > 船舶の設定 > 校正 > コンパス設定

設定するには：

- (1) メニューボタン “☰” を選択し、「コンパス校正」を選択します。
- (2) 「開始」を選択します。
- (3) 画面に表示される指示に従い、ボートを左右いずれかの方向に 1.5 回転旋回します。

- (4) 「校正ステータス：成功」が表示されたら、「OK」を選択します。

北緯設定

メニュー > 船舶の設定 > 校正 > コンパス設定

要 点：

北緯設定を行う前にコンパス校正を行う必要があります。

設定するには：

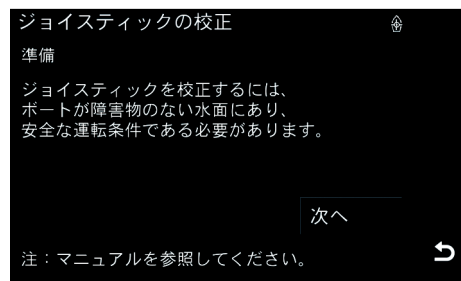
- (1) メニューボタン “☰” を選択し、「北緯設定」を選択します。
- (2) 「スタート」を選択します。
- (3) 画面に表示される指示に従い、ボートを走行させます。
- (4) 「北緯ステータス：成功」が表示されたら「OK」ボタンを選択します。

船首方位微調整

メニュー > 船舶の設定 > 校正 > コンパス設定 > “☰” > 船首方位微調整

アップボタン、ダウンボタンを押すとコンパスを 1° ずつ調整することができます。

ジョイスティックの校正



メニュー > 船舶の設定 > 校正 > ジョイスティックの校正

ジョイスティックの補正手順が表示されます。表示通りの手順で調整してください。

自動操舵感度

メニュー > 船舶の設定 > 校正 > 自動操舵感度

自動操舵機能使用時のステアリング感度を調整することができます。

ステアリングの応答性を速くするにはレベルを高くし、応答性を遅くするにはレベルを低くします。

オフタイマー

メニュー > オフタイマー

オフタイマー機能を切り替えることができます。オフタイマーは、エンジンを停止してから1時間後にすべてのエンジンのイグニッションスイッチをオフにする機能です。

要 点:

この機能は Helm Master 使用時のみ表示されます。

デバイス設定

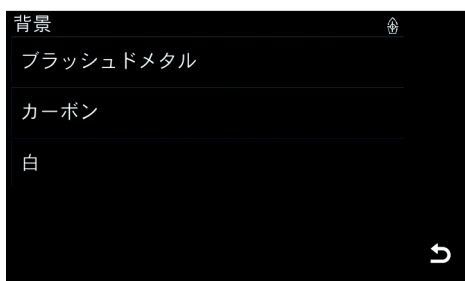
デバイス設定



メニュー > デバイス設定

デバイスに関するさまざまな設定を行うことができます。

背景の変更



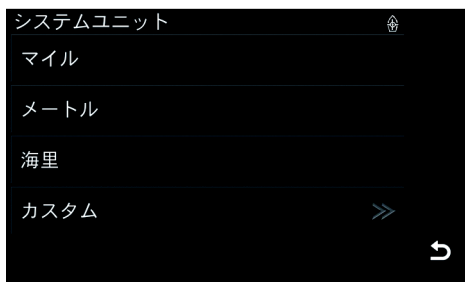
メニュー > デバイス設定 > 背景

背景のデザインを以下から選択し、変更できます。

- ブラッシュドメタル
- カーボン
- 白

表示単位と時刻の設定

表示単位の設定



メニュー > デバイス設定 > 単位 > システムユニット

表示するデータの単位を設定できます。

法令：設定した航海地域に合った表示単位

メートル：メートル単位

海里：航海術で 사용되는表示単位

カスタム：項目ごとに単位を選択

表示時刻の設定



メニュー > デバイス設定 > 単位 > 時間

時刻の表示に関する設定を行うことができます。

時刻の形式： 時間表示の設定

タイムゾーン：タイムゾーンの設定

夏時間： サマータイムに合わせます

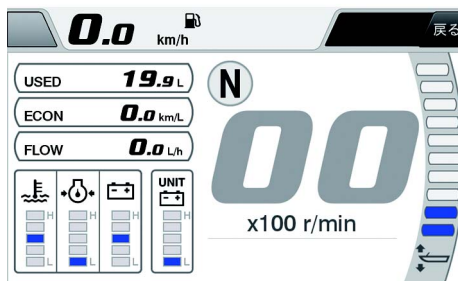
表示レイアウトの設定



メニュー > デバイス設定 > ゲージレイアウトの編集
ディスプレイに表示される情報の配置を変更できます。

エンジンデータ画面とポート情報画面のレイアウトを変更します。

エンジンデータ画面のレイアウトを変更する



メニュー > デバイス設定 > ゲージレイアウトの編集
> エンジン画面の編集

各項目を長押しして、表示項目の置き換えができます。長押しの後、表示させたい項目を選択します。

メニュー画面に戻るには、「戻る」ボタンを選択します。

要 点：

複数の船外機を搭載している場合は、ポートステイタス、エンジステイタス、サブステイタスは「船舶画面の編集」から変更する必要があります。

ポート情報画面のレイアウトを変更する

メニュー > デバイス設定 > ゲージレイアウトの編集 > 船舶画面の編集

複数の船外機を搭載している場合のポートステイタス、エンジステイタス、サブステイタスの表示項目を変更できます。

各アイテムを長押しした後、表示したいアイテムを選択し、変更します。

要 点：

「船舶画面の編集」は複数の船外機が搭載されている場合にのみ表示されます。

速度表示

メニュー > デバイス設定 > ゲージレイアウトの編集 > 速度表示

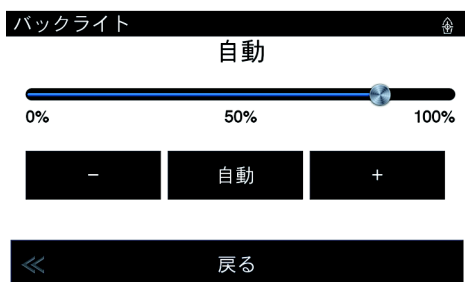
ボタンを選択すると、スピードメーターの表示と非表示が切り替わります。

バックライトの調整



メニュー > デバイス設定 > 輝度
バックライトの調整をします。

バックライトの明るさ調整



メニュー > デバイス設定 > 輝度 > バックライト

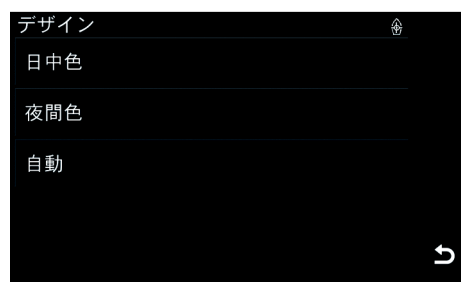
- +： 輝度を上げます。
- ： 輝度を下げます。

自動： 輝度を自動で調整します。

バックライトの同期

メニュー > デバイス設定 > 輝度 > バックライト同期
バックライト同期を起動すると、複数のディスプレイの輝度が同期されます。

デザインの変更



メニュー > デバイス設定 > 輝度 > デザイン
画面表示の色を選択できます。

日中色：

背景色が設定した背景デザインになります。

夜間色：

背景色が暗くなります。

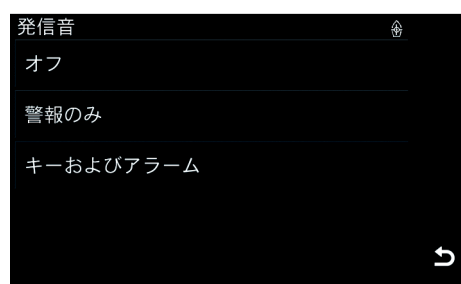
自動：

設定した時刻情報と位置情報により、背景色が日中色と夜間色に自動的に切り替わります。

要 点：

「自動」を選択するには、GPS を装備する必要があります。

発信音の設定



メニュー > デバイス設定 > 発信音
発信音の設定ができます。

オフ： 発信音をオフにします

警報のみ： 警告が発生したときに発信音が鳴ります。

キーと警報： 選択したときと警告が発生したときに発信音が鳴ります。

設定のリセット

設定のリセット



メニュー > リセット

設定情報のリセットを行うことができます。

船外機搭載機数のリセット

メニュー > リセット > エンジンの数

表示する船外機の数を変更することができます。
選択画面を表示し、船外機の数を入力します。

システムのリセット

メニュー > リセット > システムのリセット

システム情報のリセットを行うことができます。

ステアリングシステムのリセット

メニュー > リセット > ステアリングシステムのリセット

ステアリングシステムの情報をリセットできます。

要 点:

ステアリングシステムはボートに搭載する船外機によって異なります。設定を変更する場合はヤマハ取扱店にご相談ください。

ステーションの切り替え

メニュー > リセット > ステーション変更

ディスプレイを設置するステーションを設定できます。

要 点:

選択したステーション名は表示項目の横に表示されます。

初期設定にリセットする

メニュー > リセット > 初期設定にリセット

CL5 ディスプレイを工場出荷時の状態に戻します。

注 意

- 工場出荷時の設定に戻すと、これまでに入力したさまざまな設定がリセットされます。
- デバイスに問題がある場合は、工場出荷時に戻す前にヤマハ取扱店にご連絡ください。

附録

画面のクリーニング

注意

アンモニア、エタノール混合ガソリン、ベンジン、エタノールを含むクリーナーは、反射防止コーティングを傷つける恐れがあります。

デバイスは、ワックスや研磨剤に敏感な反射防止コーティングでコーティングされています。

綺麗にするには：

- (1) 反射防止コーティングに対して安全と指定された眼鏡レンズクリーナーを布に塗布します。
- (2) 力を入れずに画面を拭きます。

スクリーンショット

ディスプレイに表示された画面のスクリーンショットを撮影し、ビットマップファイル (.bmp) として保存できます。

スクリーンショットはコンピュータで見ることができます。

スクリーンショットを撮影するには：

- (1) デバイスと USB メモリースティックを接続します。
- (2) キャプチャ設定を起動します。
メニュー > デバイス設定 > キャプチャ
- (3) スクリーンショットを撮影したい画面を表示します。
- (4) 表示画面の左下を長押しします。

要 点：

USB メモリースティックを使用しない時は、デバイスにキャップを取り付けてください。

トラブルシューティング

デバイスが GPS 信号を取得しない

デバイスで GPS 信号を受信できないデバイスで衛星信号を受信できない場合、いくつかの原因が考えられます。前回デバイスで衛星信号を取得してから長距離移動した場合や、数週間または数か月以上デバイスの電源がオフになっていた場合、衛星信号を正しく受信できないことがあります。

- デバイスで最新のソフトウェアが使用されていることを確認してください。確認できない場合、デバイスのソフトウェアを更新してください。
- アンテナが GPS 信号を受信できるように、上空が開けた場所にデバイスを設置してください。室内に

設置する場合は、GPS 信号を受信できるように窓の近くに配置する必要があります。

デバイスの電源がオンにならない、または繰り返しオフになる

デバイスの電源が不規則にオフになったり、オンにならない場合、デバイスへの電力の供給に問題がある可能性があります。次の項目を確認して、電源に関する問題の原因をトラブルシューティングしてください。

- バッテリーに電力があるか確認します。
この確認方法は複数あります。例えば、その電源から電力を供給されている他のデバイスが機能しているかどうかを確認できます。
- 電源ケーブルのヒューズを点検します。
ヒューズは、電源ケーブルの赤いワイヤの一部であるホルダー内にあります。適切なサイズのヒューズが取り付けられていることを確認します。必要とされる正確なヒューズサイズについては、ケーブルのラベルまたはインストールガイドを参照してください。ヒューズを点検して、ヒューズ内の接続が維持されていることを確認します。マルチメーターを使用してヒューズをテストできます。ヒューズが正常な場合、マルチメーターの測定値は 0 オームになります。
- 12 V 以上の電圧がデバイスに供給されていることを確認します。
電圧を確認するには、電源ケーブルのメスの電源ソケットおよびアースソケットで DC 電圧を測定します。電圧が 12 V 未満の場合、デバイスはオンになりません。
- 十分な電力がデバイスに供給されているにもかかわらず、電源がオンにならない場合は、ヤマハ取扱店にお問い合わせください。

お客様窓口のご案内

お買い上げいただきました商品についてのお問い合わせ・ご相談は「ご購入店」または、下記窓口にお問い合わせください。

ご購入店

エリア	営業所	TEL
北海道	ヤマハ発動機(株) 東日本営業所 北海道サービス課	0134-31-1135
東北 関東	ヤマハ発動機(株) 東日本営業所 東日本サービス課	045-775-2450
中部 関西	ヤマハ発動機(株) 西日本営業所 西日本サービス課	0798-37-2004
中四国	ヤマハ発動機(株) 西日本営業所 中四国サービス課	082-532-8522
九州	ヤマハ発動機(株) 西日本営業所 九州サービス課	092-885-6523

営業時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日等を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

ヤマハ発動機株式会社 カスタマー コミュニケーション センター

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500 ☎ 0120-090-819

受付時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日等を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

ア	アクティブアラーム 14	設定のリセット 29	船外機搭載機数のリセット 29
ウ	運転状態でのトリムアシストの設定 22	船首方位微調整 25	船舶の設定 10, 17
エ	エンジンアラート 9	ソ	速度コントロール 10
エンジン情報 10, 12	エンジンデータ画面 5	ソフトウェア情報の表示 14	
エンジンデータ画面のレイアウトの変更 27	エンジン点検警報 15	タ	タッチスクリーンを使用 2
オ	オートパイロット (自動操舵) 17	タッチスクリーンを無効化 2	タンク情報の表示 13
オーバーヒート警報 14	オフタイマー 26	タンク設定 23	
カ	画面のクリーニング 30	テ	停止状態でのトリムアシストの設定 21
間隔 18		低電圧警報 15	定点航走 17
ケ	警告マネージャー 15	デザインの變更 28	デバイス環境設定 11
減速設定 19		デバイス設定 27	デバイスの概要 2
コ	校正 24	電源起動不具合 30	電源の入れ方 2
航路保持オフセット 19	コンパス校正 25	ト	トラブルコードの表示 15
コンパスの設定 25		トラブルシューティング 30	トリップ 10
サ	最終トラックポイントモード 19	トリップデータの表示とリセット 12	トリムアシスト設定 21
シ	GPS 衛星信号 10	トリムアシストの設定のリセット 23	トリム角度の設定 20
GPS 信号の取得付加 30	システム情報の表示 14	トリム情報の表示 14	トリムゼロ設定 25
システム点検 / ステアリング故障警報 15	システムのリセット 29	トリムのプリセット 20	
システムの設定 25	自動操舵感度 25	ナ	長さ 19
自動操舵設定 18	自動操舵設定 18	ネ	燃料流量オフセット 24
ジョイスティック / セットポイントの設定 20	ジョイスティックの校正 25	ハ	背景の變更 27
ジョイスティックの校正 25	使用するソースを選択 23	パターン設定 18	バックライトの明るさ調整 28
初期設定 3	初期設定にリセット 29	バックライトの調整 28	バックライトの同期 28
初期半径 19	振幅 19	ヒ	PTT スイッチ 21
針路保持航走 17		微調整間隔 20	表示画面の流れ 4
ス	スクリーンショット 30	表示項目リスト 1	表示時刻の設定 27
ステーションの切り替え 29	ステアリングシステムのリセット 29	表示単位と時刻の設定 27	表示単位の設定 27
ステアリングフリクション 10		表示単位の設定 27	表示レイアウトの設定 27
セ	設定航走 17		

索引

フ

フィッシュポイントの切り替え.....	20
附録.....	30

ホ

ボート情報画面のレイアウトの変更.....	28
方位保持航走.....	17
方向.....	18
北緯設定.....	25
保守確認の設定.....	12
ポップアップウィンドウ.....	9

ミ

水分離警報.....	14
------------	----

メ

メニュー.....	10
-----------	----

ユ

油圧低下警報.....	14
-------------	----

ヨ

横移動保持アシスト.....	21
----------------	----

リ

リセット.....	11
-----------	----

ロ

ロックトゥーロック.....	10
----------------	----

不許複製

名称： CL5 ディスプレイ
取扱説明書
部品番号： 6YM-28199-11
発行： ヤマハ発動機株式会社
2021 年 1 月



Printed in Japan
February 2021-1.8 x 1 CR